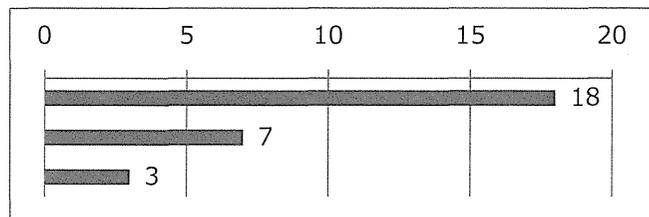


れる。ホームで相談できる人もいず、孤独、外出するも健常者とは歩調が合わず、友も減るし、引きこもりがちになってきた
 車の運転が難しくなってきたこと。
 1人で買い物に行くことが困難になったこと（自由に買い物ができにくい）

4-2. 外部介助者（ヘルパー）

有効回答者：30/75

サービス種別	人数
居宅介護	18
重度訪問介護	7
短期入所	3



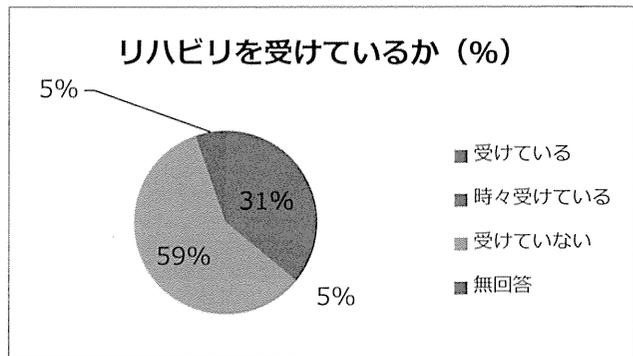
困り事

急な利用が不可
在宅勤務中のヘルパー支給が認められない事です。仕事をするという経済活動のためではなく、生命維持のために必要なのですが・・・。
一日24時間支給が欲しいが許可は下りない。
将来的な不安
ヘルパー不足により家事援助以外利用していない
制度が使いにくい
短期入所、受け入れ場所が少ない、選択肢がない
そとでの出掛先でのトイレ 移動全般
移動介助の載、目的地までマイカーで行けない、公共交通を利用しなければいけないので利用していません。
ヘルパーさんに気を使ってしまう事が多くあります。慣れるまでに時間がかかります。
ヘルパー派遣が安定しない
サービス業者が少ない
急なヘルパーさんの依頼が難しい。ヘルパーさんの人数が多いため、統一が難しく、解除方法を覚えてもらえない。そのため、首や肩の体の痛みが起きやすい。
時間数を増やしてほしい
通院時、ヘルパーを利用するためには、福祉タクシーを利用しなければならず、乗り心地が悪く耐えられない。そのため、現在利用できる状況ではあるが利用できない。

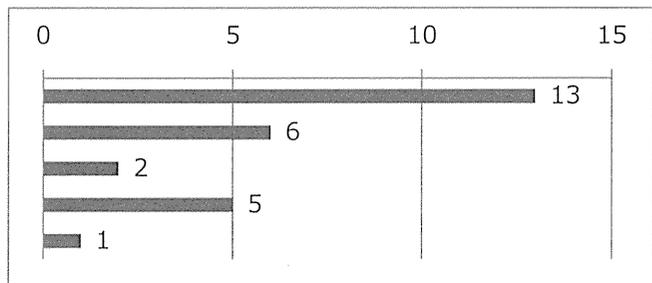
【5. リハビリテーションに関わる質問項目】

有効回答者：27/75

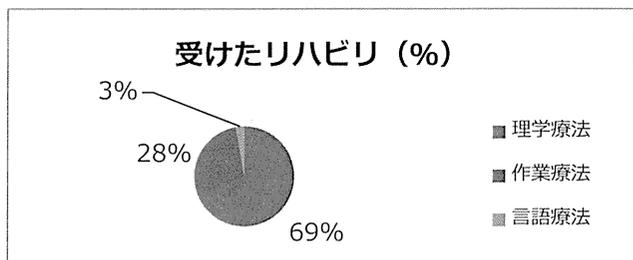
リハビリを受けているか	人数
受けている	23
時々受けている	4
受けていない	44
無回答	4
合計	75



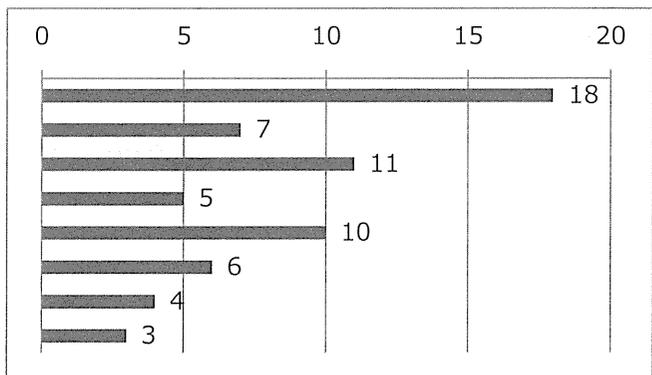
リハビリの頻度	人
1回以上/週	13
1~3回/月	6
2~3回/年	2
不明	5
無回答	1
合計	27



受けたリハビリ	件
理学療法	25
作業療法	10
言語療法	1

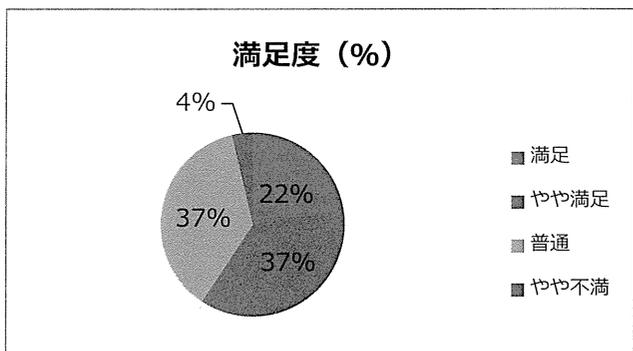


きっかけ	件
歩行が不安定になった	18
下肢装具の相談	7
上肢・下肢の変形・拘縮予防	11
車椅子の相談	5
運動の仕方についてのアドバイス	10
手の動きが悪くなった	6
福祉用具の相談 (リフトの導入等)	4
自助具の相談 (食べやすいスプーン)	3

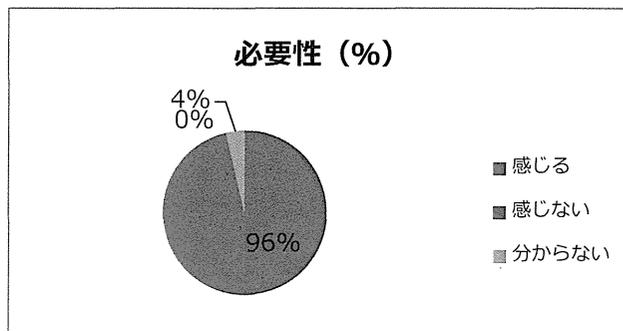


※きっかけについて比較的早期からの介入（歩行不安定）が多い傾向にあります。早期からの介入は、適切な運動、ストレッチ指導、歩行介入ができる為、今後も早期から介入できればと思います

満足度	人
満足	6
やや満足	10
普通	10
やや不満	1
合計	27



必要性	人
感じる	26
感じない	0
分からない	1
合計	27

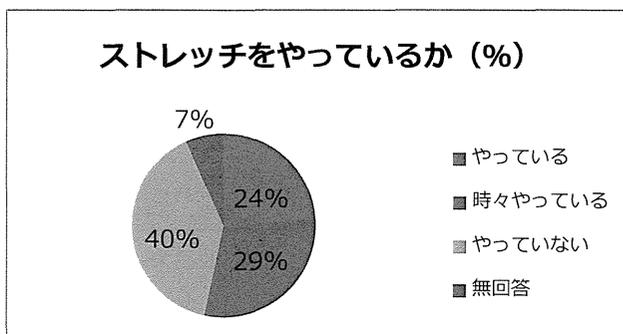


No.	実施してからの変化
1	少し疲れが軽減、関節の可動域がひろがった
2	身体の硬直を防げている気がする
3	装具の使用で外出しやすくなった
4	進行に伴う生活の変化に対処しやすくなった
5	最近ではリハビリで作成したストレッチメニューにより身体が柔らかくなりました。
6	体がほぐれる
7	普段は家の中にいる事が多いので、週1回のリハビリが唯一の運動になる。リハビリをし残っている筋肉に刺激を与える事で、病気の進行を少しでも遅くできたらと考えている。また、毎週同じプログラムをする事で、自分自身の体の変化に気が付く事ができる。
8	毎週歩き方や様子をチェックしていただける、気をつけなければならないことを指導していただける、非常に心強いし、安心感が増しました。
9	歩行訓練、立ち上がりのコツなどを知り、また体を動かすことで健康状態の改善がみられます。
10	色々な生活面での悩みも相談できるし、的確に指示してくれるのでとても有難い。
11	一次的に楽になるようです。しかし、日に日に筋力が弱くなっていくことを感じます。
12	まだ実感がないが継続していきたい
13	手足関節の拘縮がない
14	普段動かさないとこを動かすことができるので身体のためにいい
15	体幹のトレーニングできる
16	拘縮予防には役立つが、効果はあまり感じない。
17	特になし 2人
18	無回答 9人

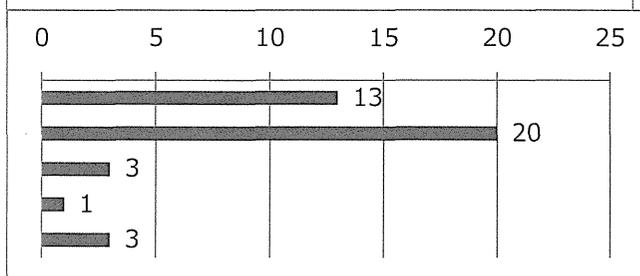
【6. ストレッチに関わる質問項目】

有効回答者：40/75

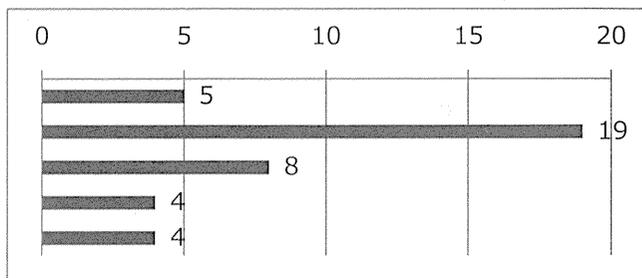
ストレッチをやっているか	人数
やっている	18
時々やっている	22
やっていない	30
無回答	5
合計	75



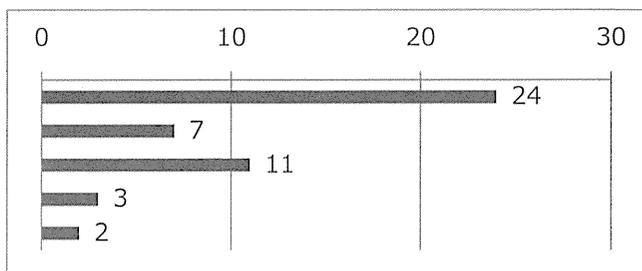
ストレッチの頻度	人
1回以上/日	13
1~4回/週	20
1~4回/月	3
不明	1
無回答	3
合計	40



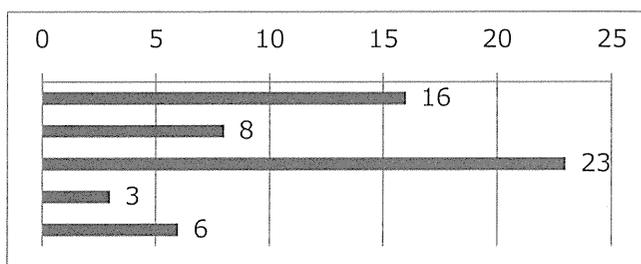
一回の実施時間	人
0～5分未満	5
5～30分未満	19
30～60分未満	8
60分以上	4
無回答	4
合計	40



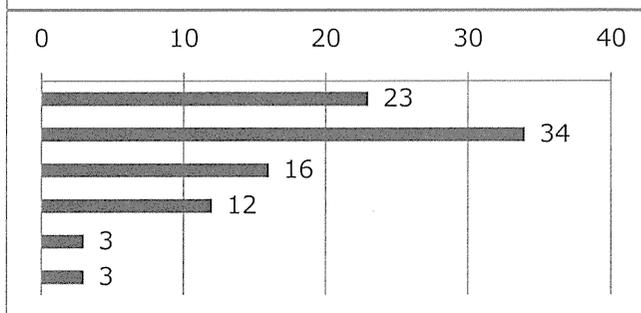
実施者	件
自分	24
セラピスト(PT/OT)	7
介護者(家族,訪問看護など)	11
その他	3
無回答	2
合計	47



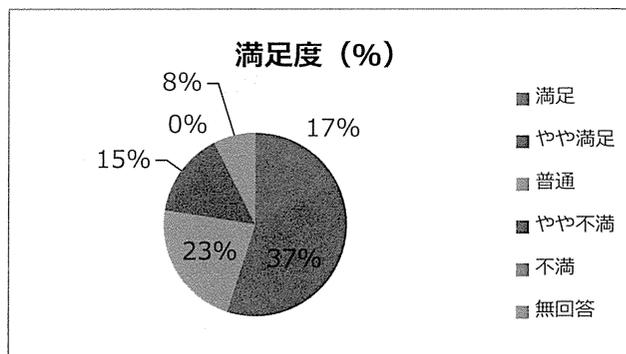
きっかけ	件
歩行が不安定になった	16
姿勢が保持しにくくなった	8
上肢・下肢の変形・拘縮予防	23
腰の痛み	3
その他	6



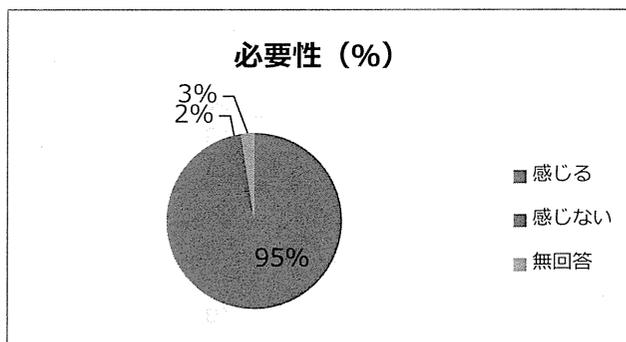
ストレッチ部位	件
上肢	23
下肢	34
体幹	16
首	12
呼吸筋	3
無回答	3



満足度	人
満足	7
やや満足	15
普通	9
やや不満	6
不満	0
無回答	3
合計	40



必要性	人
感じる	38
感じない	1
無回答	1
合計	40



満足度	理由・アドバイス
満足	激痛に耐え、とにかく毎日ストレッチを怠らない
	P Tの先生が的確にアドバイスしてくれるので。
	取り組みやすい
やや満足	もっと可動域を広げたい
	心身ともに落ち着く
	写真は資料を頂き、わかりやすく大変便利にストレッチできます。
	ベッドに移譲させてもらえないので車いすのままの為、脚の施術があまりできないのが少し不満。体の痛みを鍼灸で撮ってもらえるのは満足。
普通	メニュー作成してから随分経つのでリニューアル中です。
やや不満	手首足首をぐるぐる回すだけの自己流ストレッチをやっています。
	一日 8000 歩を程度を目標に散歩を兼ねて歩いている。
	正式な指導を受けていない 郡山での指導が非常に良かった為、リハビリは筋肉の内側を伸ばすストレッチ個人では不可能と思います。

No.	実施してからの変化
1	ストレッチ後の疲労感は強く出ます。
2	歩くのが楽になります。体重を落とすのも効果あると考えられます。筋力を落とさないのが前提ですが
3	ある程度の可動域は確保できている
4	一次的に楽になるが毎回のストレッチが激痛で辛い
5	体が安定した
6	身体が楽になった
7	関節が楽
8	少しずつ足の指が開いてきました。自分なりのマッサージをしています。特に入浴中がいいみたいです。
9	少し楽になった
10	施術後は体の痛みが和らぐ（ストレッチとは少し違うのかも）
11	だるさの軽減、脚が上げやすくなった
12	続けないと意味がないと思った。
13	手足関節の拘縮はない
14	なし
15	変化なし 気持ちがいい
16	まだはじめたばかりなので不明
17	まだわかりません
18	やらない日が続くとすぐ拘縮が早まる。
19	血流がよくなる。また転んだ時の怪我を防止するためにも体は柔らかくしておいた方がよい。
20	硬くなって部分がほぐれる。
21	腰の痛みが慢性的にあるが、少し軽減された気がする。転んでも怪我をしにくいと思う。
22	身体が温かくなって眠れる。
23	身体が柔らかくなりました。
24	特になし。
25	無回答数：16

【7. その他自由記入】

有効回答者：14/75

分類	検討項目・方向性	7-1. その他、自由に記入ください
調査項目	次回調査改善	<p>ヒアリングの項目多くて長いよ。あと質問の文章が分かりづらい。何を聞きたいのかわかんない。</p> <p>ありがとうございました。正しく記入できたか不安ですが、今後もよろしくお願ひいたします。</p> <p>進行性の病で日々精神的、肉体的に辛すぎる！握力0でここまでアンケートに答え書いてだけで疲れ切った・・・</p> <p>アンケートを自分で記入できず、介助者も忙しいため少し困りました</p>
	次回調査検討項目	<p>出産 育児 旅行 公共交通 住宅改修 遺伝カウンセリング ショートステイ 就労</p>
病状・質問	ストレッチ講習検討	<p>プールでの歩行を一回 3000 歩を一時間で週 3 回行っています。最近指の筋力が衰えてきています。筋力を保つストレッチなどあれば知りたいです。</p> <p>下肢の痛み(足の付け根、ふともも、ふくらはぎ)及び足のむくみがあります。神経内科の先生は、この病気とは関係ないと言われました。整形外科では股関節は異常ないと言われました。この痛みが続いていることがつらいです。</p>
	メンタルヘルス検討	<p>進行に伴いストレスもあります。不安の解消法など皆さんが心がけていることを知りたいです。今レアネットのアンケートを記入して筆圧が弱くうまくかけない事も実感してしまいました(以前からですが)。日々の体の進行により乗り越えなければならない壁が多いです。とてもつらいです。</p>
	専門医へ	<p>遺伝性がなかった場合、どのような診断が下っているのか。車いすのなるまでの期間</p> <p>発症の原因調査 推定発症年齢(1989)の1-2年前に200hr/月以上の残業を6カ月以上継続した経緯があった。これが関与した可能性の有無が知りたい。</p>
要望・願ひ	患者交流・QOL推進	<p>生きているのが嫌になるほど、日々困っています。入会して一年程経ちますが、皆様と共有する機会などあまりに少なく残念に思います。サイトなど拝見しておりますが、活動が大きすぎて…折角少数の方々の集まりなのに…国等へ訴えるのも必要かとは思いますが、現実に即した活動ももっと取り入れてほしいものです。代表様はじめ、同病者の方々のために懸命にされておるのは承知しておりますが、あまりに遠い存在に思います。私にとっては、病気が治る…とかの前に日々の生活で精一杯です。</p> <p>日常生活には支障は現在のところまったくくない。歩き方がおかしい、じっと立つことが辛い(ふらつく)以外には、支障がないのでこのままの状態が続くことを願っている。</p>
	福祉情報工学	<p>眼の障害があり、PCは現在、ほとんど使用していません。(見え方)眼・咽頭型も研究が進み、薬が開発されること願っています。</p>
	公共交通提案	<p>通勤時のバス、電車などでの座席について。・バスの出入り口の階段(段差)と手すりの配置(+形状)、座席の高さ・バス、電車の手すりの位置、座席の高さ ※設計を見直してほしい、無理であれば私が設計をしたいです。座席の低いものは立ち上がりにくいです。</p>

IV. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Nishino I, Crrillo-Carraasco N, Argov Z	GNE myopathy: current update and future therapy.	J Neurol Neurosurg Psychiatry.			2014
Yonekawa T, Nishino I	Ullrich congenital muscular dystrophy: clinicopathological features, natural history and pathomechanism(s)	Neurol Neurosurg Psychiatry.			2014
Cho A, Hayashi YK, Monma K, Oya Y, Noguchi S, Nonaka I, Nishino I	Mutation profile of the <i>GNE</i> gene in Japanese patients with distal myopathy with rimmed vacuoles (GNE myopathy).	J Neurol Neurosurg Psychiatry.	85(8)	912-915	2014
Goto M, Okada M, Komaki H, Sugai K, Sasaki M, Noguchi S, Nonaka I, Nishino I, Hayashi YK	A nationwide survey on Marinesco-Sjögren syndrome in Japan.	Orphanet J Rare Diseases	9・1	58	2014
Kajino S, Ishihara K, Goto K, Ishigaki K, Noguchi S, Nonaka I, Osawa M, Nishino I, Hayashi YK	Congenital fiber type disproportion myopathy caused by LMNA mutations.	J Neurol Sci	340・ 1-2	94-98	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Miyatake S, Koshimizu E, Hayashi YK, Miya K, Shiina M, Nakashima M, Tsurusaki Y, Miyake N, Saito H, Ogata K, Nishino I, Matsumoto N.	Deep sequencing detects very-low-grade somatic mosaicism in the unaffected mother of siblings with nemaline myopathy.	Neuromuscu l Disord	24・7	642-647	2014
Uruha A, Hayashi YK, Oya Y, Mori-Yoshimur a M, Kanai M, Murata M, Kawamura M, Ogata K, Matsumura T, Suzuki S, Takahashi Y, Kondo T, Kawarabayashi T, Ishii Y, Kokubun N, Yokoi S, Yasuda R, Kira JI, Mitsuhashi S, Noguchi S, Nonaka I, Nishino I.	Necklace cytoplasmic bodies in hereditary myopathy with early respiratory failure.	J Neurol Neurosurg Psychiatry	Epub		2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Mori-Yoshimura M, Oya Y, Yajima H, Yonemoto N, Kobayashi Y, Hayashi YK, Noguchi S, Nishino I, Murata M.	GNE myopathy: A prospective natural history study of disease progression.	Neuromuscul Disord	24・5	380-386	2014
Mori-Yoshimura M, Hayashi YK, Yonemoto N, Nakamura H, Murata M, Takeda SI, Nishino I, Kimura E.	Nationwide patient registry for GNE myopathy in Japan.	Orphanet J Rare Dis.	9・1	150	2014
Yuen M, Sandaradura SA, Dowling JJ, YK Hayashi, et al.	Leiomodin-3 dysfunction results in thin filament disorganization and nemaline myopathy.	J Clin Invest	125・1	456-457	2015
Matsuzaka Y, Kishi S, Aoki Y, Komaki H, Oya Y, Takeda S, Hashido K.	Three novel serum biomarkers, miR-1, miR-133a, and miR-206 for Limb-girdle muscular dystrophy, Facioscapulohumeral muscular dystrophy, and Becker muscular dystrophy.	Environ Health Prev Med.	19	452-8	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Goto M, Okada M, Komaki H, Sugai K, Sasaki M, Noguchi S, Nonaka I, Nishino I, Hayashi YK.	A nationwide survey on Marinesco-Sjögren syndrome in Japan.	Orphanet J Rare Dis.	23(9)	58	2014
Yoshinaga H et al.	Phenotypic variability in childhood of skeletal muscle sodium channelopathies	Pediatric Neurology	印刷中		
久保田智哉 高橋正紀	骨格筋チャンネル病の最新知見 — ミオトニー症候群と周期性四肢麻痺を中心に	別冊 医学のあゆみ イオンチャンネル病のすべて	pp. 38-45		2014
高橋正紀	周期性四肢麻痺	今日の整形外科治療指針 第7版	印刷中		
Furuya N, Ikeda SI, Sato S, Soma S, Ezaki J, Trejo JA, Takeda-Ezaki M, Fujimura T, <u>Arikawa-Hirasa wa E</u> , Tada N, Komatsu M, Tanaka K, Kominami E, Hattori N, Ueno T.	PARK2/Parkin-mediated mitochondrial clearance contributes to proteasome activation during slow-twitch muscle atrophy via NFE2L1 nuclear translocation.	Autophagy	Apr;10 (4)	631-41	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
de Vega S, Suzuki N, Nonaka R, Sasaki T, Forcinito P, <u>Arikawa-Hirasa</u> <u>wa E</u> , Yamada Y.	A C-terminal fragment of fibulin-7 interacts with endothelial cells and inhibits their tube formation in culture.	Arch Biochem Biophys.	Mar 1;545:	148-53.	2014
Ning L, Kurihara H, de Vega S,* Ichikawa Tomik awa n, Xu Z, Nonaka R, Kazuno S, Yamada Y, Miner JH, <u>Arikawa-Hirasa</u> <u>wa E</u>	Laminin $\alpha 1$ regulates age-related mesangial cell proliferation and mesangial matrix accumulation through the TGF β pathway	The American Journal of Pathology	Jun:18 4(6)	1683-94	2014
Nonaka R, Iesaki T, de Vega S, Daida H, Okada T, Sasaki T, and <u>Arikawa-Hirasa</u> <u>wa E</u>	Perlecan deficiency causes endothelial dysfunction by reducing the expression of endothelial nitric oxide synthase.	Physiological Reports	Jan 27;3(1)	In press	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Kerever A, Kamagata K, Yokosawa S, Yosuke Otake Y, Ochi H Hori M, Nishikori A, Aoki S, <u>Arikawa-Hirasa</u> <u>wa E.</u>	High-Resolution MRI and Three-Dimensional Imaging of Cleared Mouse Brain: A Preliminary Microstructural Study in a Mouse with callosal agenesis	Magnetic Resonance in Medical Sciences in press	in press		2014
Inaguma Y, Hamada N, Tabata H, Iwamoto I, Mizuno M, Nishimura YV, Ito H, Morishita R, Suzuki M, <u>Ohno K,</u> Kumagai T, Nagata KI.	SIL1, a causative cochaperone gene of Marinesco-Sjogren syndrome, plays an essential role in establishing the architecture of the developing cerebral cortex	<i>EMBO Mol Med</i>	6	155 - 295	2014
Ohkawara B, Cabrera-Serran o M, Nakata T, Milone M, Asai N, Ito K, Ito M, Masuda A, Ito Y, Engel AG, <u>Ohno K.</u>	LRP4 third beta-propeller domain mutations cause novel congenital myasthenia by compromising agrin-mediated MuSK signaling in a position-specific manner	<i>Hum Mol Genet</i>	23	1856-1868	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Nakayama T, Nakamura H, Oya Y, Kimura T, Imahuku I, <u>Ohno K</u> , Nishino I, Abe K, Matsuura T.	Clinical and genetic analysis of the first known Asian family with myotonic dystrophy type 2	<i>J Hum Genet</i>	59	129-133	2014
Kokunai Y*, Nakata T*, Furuta M*, Sakata S, Kimura H, Aiba T, Yoshinaga M, Osaki Y, Nakamori M, Itoh H, Sato T, Kubota T, Kadota K, Shindo K, Mochizuki H, Shimizu W, Horie M, Okamura Y, <u>Ohno K</u> , Takahashi M. *Equal contribution.	A Kir3.4 mutation causes Andersen-Tawil syndrome by an inhibitory effect on Kir2.1	<i>Neurology</i>	82	1058-1064	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Kobayashi M, Ohno T, Ihara K, Murai A, Kumazawa M, Hoshino H, Iwanaga K, Iwai H, Hamana Y, Ito M, <u>Ohno K</u> , Horio F.	Searching for genomic region of high-fat diet-induced type 2 diabetes in mouse chromosome 2 by analysis of congenic strains	<i>PLoS ONE</i>	9	e96271	2014
Yamashita Y*, Matsuura T*, Kurosaki T, Amakusa Y, Kinoshita M, Ibi T, Sahashi K, <u>Ohno K</u> . *Equal contribution.	LDB3 splicing abnormalities are specific to skeletal muscles of patients with myotonic dystrophy type 1 and alter its PKC binding affinity	<i>Neurobiol Dis</i>	69	200-205	2014
Nasrin F, Rahman MA, Masuda A, Ohe K, Takeda J, <u>Ohno K</u> .	HnRNP C, YB-1 and hnRNP L coordinately enhance skipping of human MUSK exon 10 to generate a Wnt-insensitive MuSK isoform	<i>Sci Rep</i>	4	6841	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Azuma Y, Nakata T, Tanaka M, Shen XM, Ito M, Iwata S, Okuno T, Nomura Y, Ando N, Ishigaki K, Ohkawara B, Masuda A, Natsume J, Kojima S, Sokabe M, <u>Ohno K.</u>	Congenital myasthenic syndrome in Japan: Ethnically unique mutations in muscle nicotinic acetylcholine receptor subunits	<i>Neuromuscu lar Disorders</i>	25	60-69	2015
<u>Ohno K.</u> , Ohkawara B, Ito M, Engel AG.	Molecular Genetics of Congenital Myasthenic Syndromes	<i>eLS</i> . John Wiley & Sons, Inc., Chichester (査読有)		http://www .els.net [doi: 10.1002/97 804700159 02.a00243 14].	2014
<u>Ohno K.</u> , Ito M, Kawakami Y, Ohtsuka K.	Collagen Q is a key player for developing rational therapy for congenital myasthenia and for dissecting the mechanisms of anti-MuSK myasthenia gravis	<i>J Mol Neurosci</i> (査 読有)	53	359-361	2014
Rahman MA, Nasrin F, Masuda A, <u>Ohno K.</u>	Decoding abnormal splicing code in human diseases	<i>J Invest Genomics</i> (査 読有)	2(1)	00016	2015

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
<u>Sugie K,</u> Nishino I.	Lysosomal Membrane Disorders: LAMP-2 Deficiency.	Rosenberg's Molecular and Genetic Basis of Neurological and Psychiatric Disease (5th Edition, Elsevier)		411-417	2014
Eura N, <u>Sugie K,</u> Kiriyaama T, Ueno S.	Characteristic dysphagia as a manifestation of dermatomyositis on oropharyngeal muscle imaging.	Journal of Clinical Rheumatology			In press
<u>杉江和馬.</u>	ライソゾーム膜の異常：ダノン病。神経症候群 III (第 2 版) —その他の神経疾患を含めて—。	別冊日本臨床新領域別症候群シリーズ	28	839-843	2014
Madoka Mori-Yoshimura, Yasushi Oya, Hiroyuki Yajima, Naohiro Yonemoto, Yoko Kobayashi, Yukiko K. Hayashi, Satoru Noguchi, Ichizo Nishino, Miho Murata	GNE myopathy: a prospective natural history study of disease progression.	Neuromuscular Disord.	24(5)	380-386	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Madoka Mori-Yoshimura, Yukiko K Hayashi, Naohiro Yonemoto, Harumasa Nakamura, Miho Murata, Shin'ichi Takeda, Ichizo Nishino and En Kimura	Nationwide patient registry for GNE myopathy in Japan.	Orphanet J Rare Dis.	9	150	2014
Ayaki T, Ito H, Fukushima H, (7名) Nakano S, Kusaka H, (7名)	Immunoreactivity of valosin-containing protein in sporadic amyotrophic lateral sclerosis and in a case of its novel mutant.	Acta Neuropathol Commun.	2(1).	172 [Epub ahead of print]	2014
辰野健太郎, 中 村聖香, 朝山 知 子, 中野智	筋症状のみを呈した慢 性ミオパチー型筋サル コイドーシスの 1 例	臨床神経	54	313-316	2014
村田顕也, 伊東秀文	封入体筋炎の病態と原 因	Brain and Nerve	66	1385-1394	2014

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
Nakamura M, Hachiya N, <u>Murata K</u> , Nakanishi I, Kondo T, Yasutake A, Miyamoto KI, Ser PH, Omi S, Furusawa H, Watanabe C, Usuki F, Sakamoto M.	Methylmercury exposure and neurological outcomes in Taiji residents accustomed to consuming whale meat.	Environ Int	68	25-32	2014
Watanabe Y, Suzuki S, Nishimura H, <u>Murata K</u> , Kurashige T, Ikawa M, Asahi M, Konishi H, Mitsuma S, Kawabata S, Suzuki N, Nishino I	Statins and myotoxic effects associated with anti-3-hydroxy-3-methylglutaryl-coenzyme A reductase autoantibodies: an observational study in Japan.	Medicine	94	e416	
Nakane S, Higuchi O, Koga M, Kanda T, <u>Murata K</u> , Suzuki T, Kurons H, Kunimoto M, Kaida K, Mukaino A, Sakai W, Maede Y and Matsuo H	Clinical features of autoimmune autonomic ganglionopathy and the detection of subunit-specific autoantibodies to the ganglionic acetylcholine receptor in Japanese patients	PLos one			in press

発表者名	論文タイトル	発表誌	巻・号	ページ	出版年
<u>村田顕也</u>	偽性髄膜瘤	神経症候群 (2版) V		817-821	2014
<u>村田顕也</u>	巣状筋炎	骨格筋症候群 上 (第2版)		印刷中	
<u>村田顕也</u>	増殖性筋炎	骨格筋症候群 上 (第2版)		印刷中	
<u>村田顕也</u>	微小管障害性ミオパチー	骨格筋症候群 下 (第2版)		印刷中	
Hori H, Yamashita S, Tawara N, Hirahara T, Kawakami K, Nishikami T, Maeda Y, Ando Y.	Clinical features of Japanese patients with inclusion body myositis.	Journal of the Neurological Sciences	346 (1-2)	133-137	2014
Yamashita S, Mori A, Nishida Y, Kurisaki R, Tawara N, Nishikami T, Misumi Y, Ueyama H, Imamura S, Higuchi Y, Hashiguchi A, Higuchi I, Morishita S, Yoshimura J, Uchino M, Takashima H, Tsuji S, Ando Y.	Clinicopathological features of the first Asian family having vocal cord and pharyngeal weakness with distal myopathy due to a MATR3 mutation.	Neuropathol ogy and Applied Neurobiology .		In press	2015